

2010 年 9 月 30 日

## **SAAJ** NEWS RELEASE

### 公開草案「金融商品」についての意見書を提出

(社)日本証券アナリスト協会（会長：稲野和利 野村アセットマネジメント会長）は、2010 年 5 月に公表された公開草案「金融商品」についての意見書を作成し、9 月 30 日（木）に米国財務会計基準審議会（以下 FASB）へ提出しました。

#### 【意見書のポイント】

- ✓ 当協会は、金融商品のデフォルト測定属性を公正価値にすべきとは考えていない。全ての金融商品を時価評価する FASB の提案よりも、国際会計基準審議会（以下 IASB）が提案するような金融商品の保有目的を勘案して異なった測定属性を採用する混合属性モデルを支持している。
- ✓ 本年 6 月に全会員を対象に実施した会計についての包括的なアンケート調査でも、全ての金融商品を時価評価する FASB 案を支持する回答者 32%に対して、金融資産の保有目的を勘案した IASB 案を支持する回答者は 63%と大きく上回っていた。
- ✓ 混合属性モデルを支持する理由は、売却益獲得を目的とせず、また満期まで、または長期間保有することが確実な金融商品の価格変動をその都度認識すると、純利益または累積その他包括利益に不必要な変動をもたらす弊害が大きいと考えるからである。企業分析上で時価情報が有意な場合があるが、それは注記で示せば十分である。
- ✓ 米国の財務情報利用者に時価評価支持者が多いことは承知しているが、世界の利用者が全てそうした意見に同調している訳ではない。FASB は米国の会計基準設定者であると共に、MoU に基づき、世界で唯一の会計基準を IASB と共に開発している。金融商品会計基準についても、広く世界の関係者の声を聞き、最終的に IASB とのコンバージェンス（収斂）が達成できるような FASB の判断を期待している。

#### 【添付資料】

資料1 *re: Comments on Exposure Draft*

*“Accounting for Financial Instruments and Revisions to the Accounting for Derivative Instruments and Hedging Activities”*

資料2 公開草案「金融商品」についての意見書

本件に関するお問い合わせは下記まで

(社)日本証券アナリスト協会

電話：03-3666-1577

担当：教育第一企画部長 かいます 貝増 眞